

シートベルトの正しい着用

シートベルトは正しく着用しないと効果が半減したり、危険な場合があります。次の使用方法にしたがって出港前には必ず着用してください。

1. 背もたれを調整し、上体を起こし深く腰掛けて座ること。
2. ベルトはねじれていないこと。
3. 必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させること。



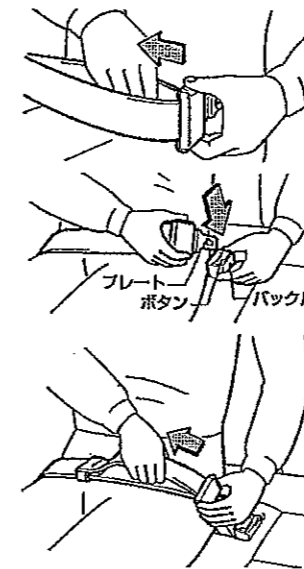
警告

必ずシートベルトを着用してください。また、着用するときは必ず次のことをお守りください。

- シートベルトを着用するときは、必ず次のことをお守りください。守らないと衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - ・シートベルトは上体を起こして、椅子に深く腰かけた状態で着用してください。
 - ・シートベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させて着用してください。
 - ・シートベルトが腰骨からはずれていると衝突したとき、腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。
 - ・シートベルトはねじれないように着用してください。ねじれていると衝突したときなどに衝撃力を十分に分散させることができません。
 - ・シートベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使用しないでください。
 - ・シートベルトは肘掛けの下に通した状態で正しく着用してください。肘掛けにかかった状態で着用すると、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害を受けるおそれがあります
- お子さまにもシートベルトを必ず着用させてください。
- 妊娠中の女性も必ずシートベルトを正しく着用してください。
(ただし、医師に注意事項をご確認ください)
- 疾患のある方も必ずシートベルトを正しく着用してください。
(ただし、医師に注意事項をご確認ください)
- シートベルトのバックルには異物が入らないようにしてください。異物が入るとプレートがバックルに完全にはまらない場合があり、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ほつれ、すりきれができた、正常に作動しなくなったシートベルトはすぐに新品と交換してください。そのまま使用すると衝突したときなどに正常に働かず、シートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- シートベルトの改造や分解などをしないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

シートベルトの着用の仕方

◎ 長さ調整式2点式ベルト



- 1 ベルトを引いて必要な長さにします。
- 2 プレートをバックルに差し込みます。
ベルトにねじれないようにし、プレートを“カチッ”と音がするまでバックルに差し込みます。
- 3 腰部ベルトを調整します。
ベルトを引いて必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させます。
- 4 はずすときはバックルのボタンを押します。
はずしたベルトはバックルにはめておいてください。